

いきものふれあいの森 通信

2025.8.11 第9号

今年の夏は格段に暑さを感じ、毎日のように“熱中症警戒アラート”を耳にします。皆さまも水分補給を忘れずに熱中症には十分に気を付けましょう。

今年は〈いきものふれあいの森〉の〈古民家体験学習施設〉でも異変が起きています。先月の通信でナナフシを捕まえた子を紹介しましたが、そのナナフシが大量発生しているのです。毎朝、古民家の雨戸を明けに行くのですが、ある日古民家の白壁にナナフシが4匹も止まっているのを見つけました。



一度に4匹を見るのは初めてなので、もしや！と思い古民家の周りを探してみると34匹も数えられました。調べてみると、触角が短いことから一般的な種であるナナフシモドキと分かりました。10月位まで見られるそうなので、是非、観察しに来てください。何匹探せるかな？

そして、古民家向かいの〈森の里広場〉の東屋の前の畑では色々な草花の植え付けに挑戦中です。

まずはコスモスとヒマワリ、メキシコヒマワリ。



苗や種を植える時期が少々遅れたのですがコスモス

は一部で咲いています。ヒマワリは高さが2～3メートルになり黄色の花が咲き、メキシコヒマワリは高さが20センチ程度で鮮やかな朱色の花となります。共にまだ花芽が見られませんが何とか咲いてくれるのを大いに期待をしています。



他にもシャクヤクの株を植えたり、蝶々たちが好きなクララ（オオルリシジミの食草）、ウマノスズクサ（ジャコウアゲハの食草）、フジバカマ（アサギマダラが好む）も植えてみました。来年の春～夏にはなりますが、乞うご期待！

〈花の丘〉ではこの暑さの中でもオニユリやキキョウが頑張っています。



8月に入り夏休みの子供たち向けのイベントも行われました。

8/2(土)の「森の入口広場“池”の自然観察会」では多くの親子連れで水生昆虫の観察をしました。



左側はマツモムシ。背泳ぎで泳ぐ事で知られ英名でも“backswimmers”です。

右側はコオイムシで、メスはオスの背中に卵を産みオスは卵を背中に乗せたまま移動するので小負虫。



種類によっては絶滅危惧種のタイコウチ。前肢の動きが太鼓を打つ仕草に似ていることから名前が付けられました。長野県では準絶滅危惧（NT）に指定されています。



8/4(月)の「みんなで温暖化ウオッチ セミのぬけがらを探せ！2025」も沢山の家族連れで大賑わいでした。

山の中を歩き回ってセミのぬけがらを探しまくり、

アブラゼミ、ミンミンゼミ、エゾゼミ、ニイニイゼミ、ヒグラシ、ツクツクボウシ、エゾハルゼミ等のぬけがらを650個余りも採取できました。



これは何ゼミのぬけがらだったかな～。



暑い中ではありましたが夏休みの楽しい一日でした。皆さんお疲れさまでした。

以上

伝言板

生物多様性エコスクール 「トンボ観察会」

- ・ 場所 アルプス公園内
- ・ 日時 9月6日(土) 9:00～12:00
- ・ 対象 市内在住の小学生以上
(小中は保護者同伴)
- ・ 定員 20人
- ・ 申込 8/24まで

詳細は「環境・地域エネルギー課」にて
ご確認下さい。

TEL 0263-34-3268

発行元：(株)TOYBOX アルプス公園サービスセンター

TEL：0263-34-5640

MAIL：info@toybox-net.jp